

千葉市感染症発生動向調査情報

2020年 第15週 (4/6-4/12) の発生は？

1 定点報告対象疾患(五類感染症)

| 報告のあった定点数 | 15週 | 14週 | 13週 | 12週 |
|-----------|-----|-----|-----|-----|
| 小児科 | 18 | 18 | 18 | 18 |
| 眼科 | 5 | 5 | 5 | 5 |
| インフルエンザ* | 28 | 28 | 28 | 28 |
| 基幹定点 | 1 | 1 | 1 | 1 |

上段:患者数

下段:定点当たりの患者数

「定点当たりの患者数」とは
報告患者数/報告定点数。

| 定点 | 感 染 症 名 | 千 葉 市 | | | | | 千葉県 |
|------|---------------------------|-------|----------|----------|-----------|-----------|----------|
| | | 注意報 | 4/6-4/12 | 3/30-4/5 | 3/23-3/29 | 3/16-3/22 | 3/30-4/5 |
| | | | 15週 | 14週 | 13週 | 12週 | 14週 |
| 小児科 | RSウイルス感染症 | | 0 | 1 | 2 | 0 | 13 |
| | 咽頭結膜熱 | | 0 | 0 | 2 | 0 | 9 |
| | A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 | | 23 | 36 | 31 | 39 | 249 |
| | 感染性胃腸炎 | | 19 | 25 | 35 | 21 | 234 |
| | 水痘 | | 0 | 2 | 3 | 2 | 24 |
| | 手足口病 | | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 |
| | 伝染性紅斑 | | 2 | 1 | 2 | 0 | 12 |
| | 突発性発しん | | 9 | 12 | 12 | 6 | 45 |
| | ヘルパンギーナ | | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 |
| | 流行性耳下腺炎 | | 0 | 1 | 0 | 2 | 5 |
| インフル | インフルエンザ*(高病原性鳥インフルエンザを除く) | | 2 | 6 | 2 | 5 | 17 |
| 眼科 | 急性出血性結膜炎 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| | 流行性角結膜炎 | | 2 | 1 | 2 | 4 | 7 |
| 基幹定点 | 細菌性髄膜炎 (髄膜炎菌性髄膜炎を除く) | | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| | 無菌性髄膜炎 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | マイコプラズマ肺炎 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| | クラミジア肺炎 (オウム病を除く) | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る) | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |

★★:流行中 ★:やや流行中 ◎:増加 ○:やや増加 →:変化なし ↓:やや減少 ↓↓:減少

2 全数報告対象疾患(31件)

※新型コロナウイルス感染症23件は数のみ

| 病名 | 性 | 年齢層 | 診断(検査)方法 | 病名 | 性 | 年齢層 | 診断(検査)方法 |
|--------------|----|---------|------------|-------------|----|------|--------------------|
| 結核 | 男性 | 10歳代 | IGRA検査 | 腸管出血性大腸菌感染症 | 女性 | 10歳代 | 病原体の分離・同定及びベロ毒素の確認 |
| 結核 | 男性 | 60歳代 | IGRA検査 | | 女性 | 10歳代 | |
| 結核 | 女性 | 20歳代 | 病原体の分離・同定等 | デング熱 | 女性 | 30歳代 | 血清IgM抗体の検出 |
| E型肝炎 | 男性 | 60歳代 | 血清IgA抗体の検出 | | 女性 | 30歳代 | 非構造蛋白抗原の検出 |
| 新型コロナウイルス感染症 | | 20-60歳代 | 病原体等の検出 | - | - | - | - |

・第15週は、結核3件(51)、腸管出血性大腸菌感染症2件(2)、E型肝炎1件(2)、デング熱2件(2)、新型コロナウイルス感染症23件(32)の発生届があった。

※ ()内は2020年の累積件数。但し、累積件数は速報値であり、データが随時訂正されるため変化します。

定点当たり報告数 第15週のコメント

過去10年の同時期と比べてほぼ平均以下となっている。

<トピック>

<新型コロナウイルス感染症>

・発生届

千葉市では、2月3日に最初の発生届がありその後3月下旬から連続して届け出が始まり、第14週(4月5日時点)までは合計9件でしたが、第15週は急増して23件の届け出があり、合計32件となっています(図1-1)。

性別では男性が22名(68.8%)、女性が10名(31.2%)で、年齢層は10歳代から70歳代までで、年齢中央値は全体で44.3歳で、男性は50.9歳、女性は29.8歳となっています。年齢階級別では50歳代(9名:28.1%)、40歳代(8名:25.0%)、20歳代(5名:15.6%)の順に多くなっています。男性では50歳代を中心として比較的高い年齢層に多く、女性では20歳代を中心として比較的高い年齢層に多く発生している傾向となっています(図1-2)。

症状は、発熱(26名:81.3%)、咳(13名:40.6%)の順で多く、以下味覚障害(8名:25.0%)嗅覚障害及び倦怠感(共に4名12.5%)と続いています(図1-3)。現時点での主な症状を年齢階級別で見ると、60歳代以上では全ての人が発熱していますが、年齢が下がると共に減少傾向にあり、咳が出た人は13名のうち40歳代以上が10名で50歳代を中心として比較的高い年齢階級で多く、味覚障害は8名中6名が30歳代以下で比較的高い年齢階級で多くなっています(図1-4-1~5)。

図1-1 発生届状況
(受理日別 千葉市 n=32)

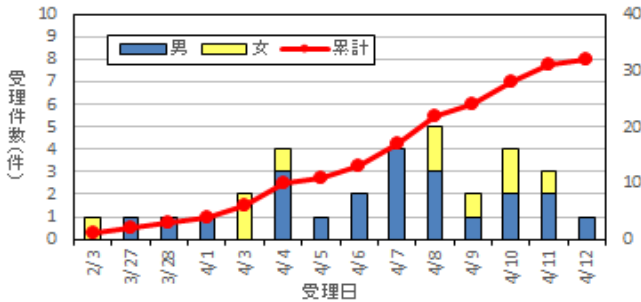


図1-2 発生届状況
(性別及び年齢階級別 千葉市 n=32)

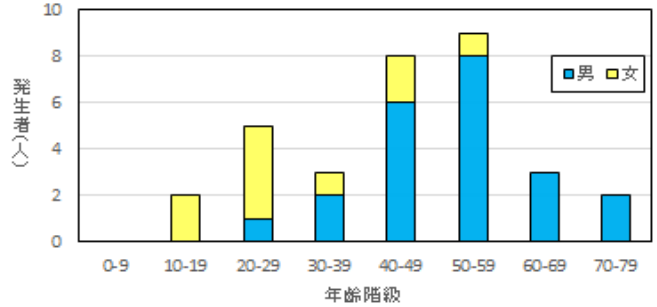


図1-3 症状別(重複あり)

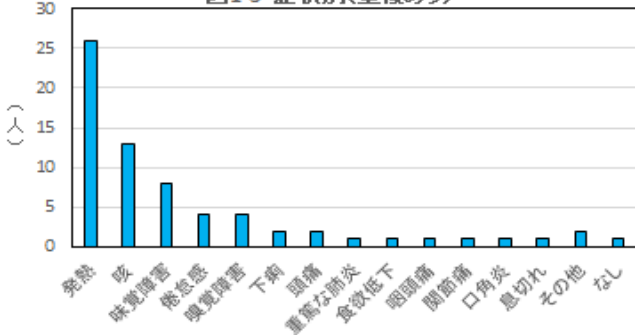


図1-4-1 年齢階級別の症状:発熱

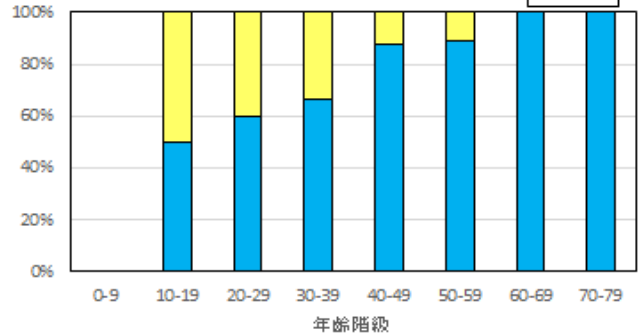


図1-4-2 年齢階級別の症状:咳

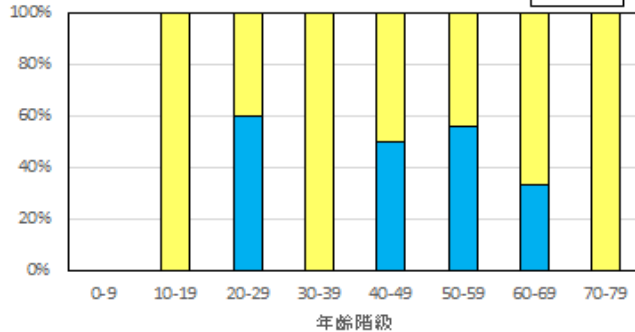


図1-4-3 年齢階級別の症状:味覚障害

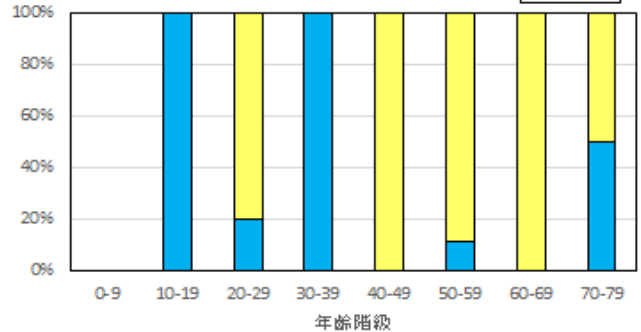


図1-4-4 年齢階級別の症状:嗅覚障害

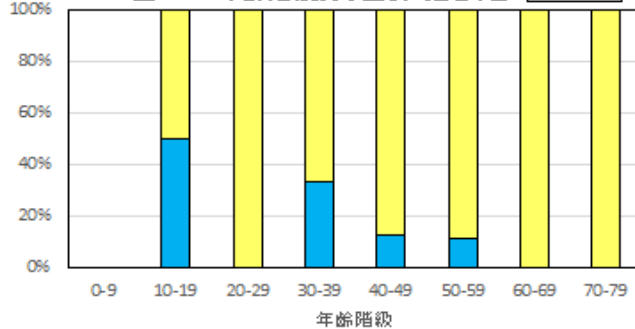
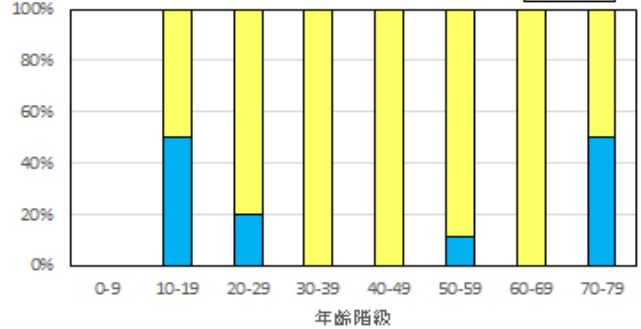


図1-4-5 年齢階級別の症状:倦怠感



・ウイルス検査

千葉市環境保健研究所では、2020年第15週(2020年4月12日時点)までに1140例(検体数1303)について新型コロナウイルス感染症の検査を実施しました。搬入された市中感染・輸入例疑い事例は917例(うち陰性化確認等22例)となっており、この他クルーズ船関連事例191例(うち陰性化確認126例)、その他陰性化確認等32例の検査を実施しました。

そのうち、陰性化確認等22例を除いた市中感染・輸入例疑い事例895例(検体数1013)について(図2-1)は、陽性は38例(陽性割合:4.25%(38/895))でした(図2-2)。陽性38例のうち、男性は25名(65.8%)、女性は13名(34.2%)で、年齢階級別では、50歳代(11名:28.9%)、40歳代(8名:21.1%)、20歳代(7名:18.4%)の順で多くなっています(図2-3)。

図2-1 新型コロナウイルス感染症市中疑い事例PCR検査数

(千葉市:4月12日現在 n=895)

(クルーズ船乗客等関係者及び陰性化確認検査を除く)

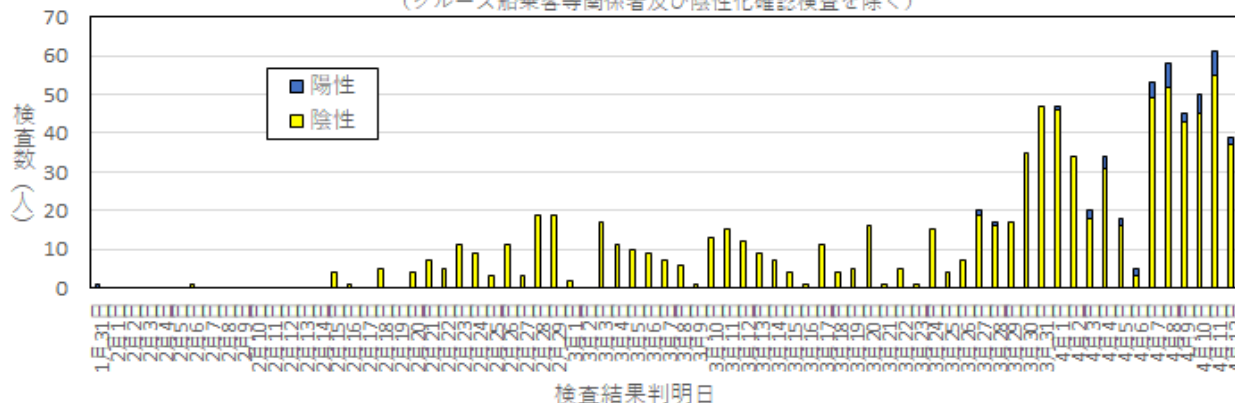


図2-2 新型コロナウイルス感染症市中感染疑い事例PCR検査状況

(年齢階級別 千葉市:4月12日現在 n=895)

(クルーズ船乗客等関係者及び陰性化確認検査を除く)

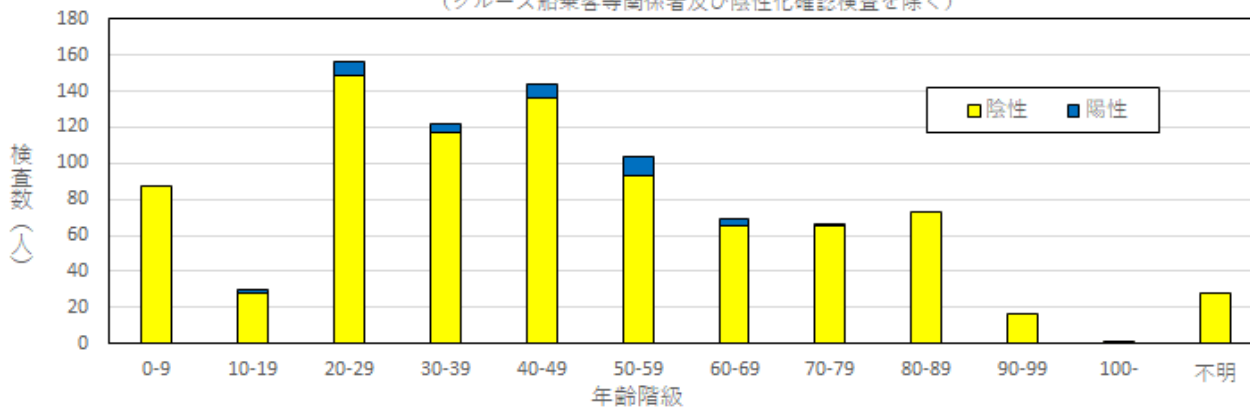


図2-3 新型コロナウイルス感染症市中陽性者

(性別及び年齢階級別 千葉市 4月12日現在 n=38)

